

「国語・算数」（おはなし）学習指導案

1. 日時 令和6年7月16日（火） 第3時限（10:35～11:15）
2. 場所 小学部 教室
3. 学部・学年・組 小学部
4. 単元（題材）名 「おべんとうバス」
5. 単元（題材）目標

- 国語**・絵本や教師からの話しかけに注目することができる。【知・技】
- ・教師からの話しかけに応じて、表情や身振り・発声などで答えることができる。【思・判・表】
 - ・やりとりを通して自分から教師や友だちと関わろうとする。【学・人】
- 算数**・具体物に注目したり、動かしたりすることができる。【知・技】
- ・ものに注意を向け、皿に入れたり、型にはめたりすることができる。【思・判・表】
 - ・自分から具体物を操作して、主体的に活動に取り組もうとする。【学・人】

6. 児童観

当学級の児童の学習段階は1段階から2段階である。知的障がい、自閉症スペクトラムの児童が在籍している。

学校の生活場面に関しては、少しずつ自分でできることが増えており、一人で身支度ができる児童もいる。休み時間の過ごし方については、外で走りまわったり、ブランコなどの遊具で遊んだり、教室で絵本を見ていたり、おもちゃで遊んだりしている。最近では外に出て虫取りを楽しむ児童もいる。自分なりの遊びを見つけようとしている様子である。友だち同士での関わりも見られるようになってきている。

あいさつに関しては、自分の名前を呼ばれると返事ができる児童もいるが、教師を見たり、声を出したりするなどの反応が見られない児童も半数いる。教師が近づき、呼名をしながら目の前で両手をあげて注目させることで、タッチをしてあいさつすることができる児童もいる。

授業は、概ね落ち着いて参加できている。何かが気になったり、気持ちが高ぶったりして離席してしまう児童も見られるが、多くの児童が自席で座って取り組むことができている。

おはなしの授業の国語の分野である絵本の読み聞かせでは、教師が絵本を読む声の調子を変えたり、絵本を近づけたり、一緒に掛け声をかける場面を作ったりすることで、よく見ることができている。絵本『とんとんとん』では、多くの児童が「とんとんとん」と元気よく掛け声をかけることができた。絵本『おかいもの、おかいもの』では、絵本に描かれている果物や卵などの食材を指で押さえて、カエルが持っている買い物かごまで指で運ぶことができる児童が多数いた。絵本『がたんごとん』では哺乳瓶やスプーンなど、指定されたものを取り、機関車に乗せる課題を行った。言葉だけの指示だけで取ることができる児童、絵を示すことで同じものを取ることができる児童、実物を見せることで取ることができる児童、指差しされたものを取ることができる児童と、実態は様々である。

算数の分野であるマッチングについては、手本や見本を見てできる児童、一枚ずつカードを渡されると正しい場所における児童、教師が指差ししたらその場所に置くことができる児童がいる。カード状の薄いものをつまむことが難しく手指操作に課題がある児童もいる。

コミュニケーションに関しては、言葉で思いを伝えることができる児童や、発語はないが日常的な教師の言葉かけを理解している児童、身振りやサイン、表情で思いを伝えようとする児童など、実態は様々である。

この学習を通して、自分の能力を高めることはもちろんであるが、友だちと一緒に台詞を言ったり、活動したり、みんなに自分の頑張っているところを見てもらったりするなど、自分と友だちとの関わりを少しでも増やしていき、将来必要とされる人との関わりを少しでも持てるような基礎を作る機会にしたい。

7. 教材観

教材としては、絵本『おべんとうバス』を設定する。児童たちにとって楽しみにしているお弁当や毎日乗るバスが題材であるため、親しみを持つことができる。「おかずが登場する→おかずの名前を呼ぶ→返事をする」という内容が繰り返されるので、見通しを持って絵本を見ることができる。

また、「はい」、「いただきます」など日常的によく使用する言葉がよく出てくるので、イメージしやすく、みんなと一緒に掛け声も出しやすいものだと考えられる。

本単元である『おべんとうバス』の読み聞かせに関しては、特別支援学校小学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する国語科1段階の(2)内容[知識及び技能]のイ(エ)「読み聞かせに注目し、いろいろな絵本などに興味をもつこと。」を踏まえ、みんなで「はい」と返事したり、「しゅぱ一つ」と掛け声をかけたり、「いただきます」と手を合わせながら言うなど、実際の日常生活で繰り返し使用されるなじみのある言葉を楽しい雰囲気の中かで出せるようにする。

『しつもんにこたえよう!』に関しては特別支援学校小学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する国語科1段階の(2)内容[思考力・判断力・表現力等]A聞くこと・話すことのイ「身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすること。」を踏まえて指導する。児童の実態に応じて、言葉だけで質問したり、絵本を使って質問したりするなど、どの児童にも言葉や表情、手振り身振りで答えられるようにする。

『バスにのってみよう!』に関しては、特別支援学校小学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する国語科1段階の(2)内容[思考力・判断力・表現力等]A聞くこと・話すことのイ「身近な人からの話しかけに注目したり、応じて答えたりすること。」を踏まえて指導する。運転手さん役とお客さん役に分かれて、友だち同士で、教師の支援を受けながら、言葉やサインを通してやり取りできるようにする。

本時の『バスにのせよう!』に関しては、特別支援学校小学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する算数科1段階の(2)内容のA数量の基礎ア(イ)㉞「対象物に注意を向け、対象物の存在に注目し、諸感覚を協応させながら捉えること。」および、算数科第2段階の(2)内容A数と計算ア(ア)㉟「ものの集まりと対応して、数詞が分かること。」㊱「ものの集まりや数詞と対応して数字が分かること。」を踏まえ、おべんとうバスのキャラクターのおかずの絵カードを手にとって、バスの絵カードに貼る活動を行う。キャラクターの裏には厚みのある磁石を使用することで、手指の操作に課題のある児童にもつまみやすくなり、課題を少しでもスムーズに行えるように工夫した。

2段階の児童に関しては、特別支援学校小学部学習指導要領の知的障害者である児童に対する国語科2段階(2)内容のうち[思考力・判断力・表現力等]A聞くこと・話すことのイ「簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。」を踏まえて指導を行う。指示を言葉で聞いたり、書いているものを見たりして課題を行うようにする。

8. 指導観

『おべんとうバス』の読み聞かせについては、大型絵本を使用する。児童の様子を見ながら、ゆっくりページをめくったり、絵本を動かしてバスの動きを表現したりして、興味が持てるようにする。また、児童が掛け声を出す前に「せーの」と言い、タイミングよく掛け声を出せるようにする。

『しつもんこたえよう』に関しては、おべんとうバスの絵本を見せながら児童の課題に応じた質問をする。質問をしている教師の顔を見た、絵本をタッチできたなど、児童の少しの働きかけについても褒めるようにしていきたい。

『バスにのろう』は、カードを使用する。運転手さん役とお客さん役を設定して、友だち同士でやり取りをする機会を設ける。カードにはバスのイラストを貼り楽しめるようにする。また、みんなで「しゅっぱーつ」と言ったり、バスが動いている間に音楽をかけたりするなど、待機している児童にも楽しめるようにしていきたい。

本時の『バスにのせよう』は、教室のホワイトボードを使用する。段階別に3つのグループに分かれて行う。前方のホワイトボードを使用して行い、待っている児童にも友だちが課題を行っている様子が見えるようにする。

9. 単元（題材）の評価規準

国語 【1段階】

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①教師と一緒に言葉と事物を一致させている。	①読み聞かせを見聞きし、示された身近なものなどに注目している。	①身近なものとその名前に興味をもって活動に取り組もうとしている。
②教師や友だちの表情や身振り、話しかけなどに注目している。	②話しかけに応じて、教師と一緒に表情や身振り・発声などで応えている。	②やりとりを通して教師や友だちと関わろうとしている。

【2段階】

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①物の名前や動作など、いろいろな言葉に気付いている。	①絵や写真などを見て、動作や絵・文字と言葉を結び付けている。	①簡単な指示や説明を聞き、その指示に応じた行動をしようとしている。
②挨拶や簡単な会話などの話し言葉に慣れ、言葉を用いて気持ちが伝わることを感じている。	②教師の働きかけに応じて、挨拶したり簡単な台詞などを表現したりしている。	②やりとり遊びを通して教師や友だちと意欲的に関わろうとしている。

算数 【1段階】

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①具体物に気付いて指差ししたりつかもうとしたり目で追ったりしている。	①ものや絵に注目し、声を出したり指差しなどで表現したりしている。 ②ものに注意を向け、型にはめようとして形を捉えている。	①ものや絵に注目し、視線や意識を向けようとしている。 ②自分からいろいろな形のものや素材に触れ操作するなど、主体的に活動に取り組もうとしている。

【2段階】

A 知識・技能	B 思考・判断・表現	C 主体的に学習に取り組む態度
①数詞とものを対応させて個数を正しく数え、ものの個数を判断している。	①具体物を操作して数を数えている。	①数字に興味を持ったり、主体的に数を数えようとしたりしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全7時間、本時は第7時）

次	時	学習内容	学習活動	指導上の留意点	評価規準(評価方法)
第一次	1	①絵本	・『おべんとうバス』の読み聞かせを見る。 ・教師からの質問に答える。 ・指定されたおかずの絵カードを取ってバスの絵カードに貼る。 ・本時で行ったことをふりかえる。	・絵本に注目できるように言葉かけをしたり、絵本の読み方に抑揚をつけたりする。 ・答えやすいように絵本を児童の前で示しながら質問する。 ・児童に応じて、指定するものを見せたり、言葉で伝えたりする。	【1段階】 国：ABC① 算：ABC①② 【2段階】 国：ABC① 算：ABC①
	2	『おべんとうバス』 ②「しつものにこたえよう」 ③「バスにのせよう」 ④ふりかえり			
	3	①絵本 『おべんとうバス』	・『おべんとうバス』の読み聞かせを見る。	・絵本に注目できるように言葉かけをする。大きな声で、文字を指で押さえながら読む。「はい」の部分と一緒に読むように促す。	【1段階】 国：ABC①② 算：ABC①② 【2段階】 国：ABC①

		<p>②型はめ</p> <p>③おべんとう作り</p> <p>④ふりかえり</p>	<p>・おかずの型はめをする。</p> <p>・おかずを自由に、おべんとう箱に貼る。</p> <p>・みんなのおべんとうを発表する。</p>	<p>・形を見るように言葉かけをする。</p> <p>・おべんとうの枠からはみ出さないように伝える。</p> <p>・友だちのおべんとうを見るように促す。</p>	
第二次	4 5	<p>①絵本『おべんとうバス』</p> <p>②「バスにのろう」</p> <p>③ふりかえり</p>	<p>・『おべんとうバス』の読み聞かせを見る。</p> <p>・運転手やお客さんになって台詞を言葉やサインで表現する。運転手はカートを押す、お客さんはカートに乗る。</p> <p>・本時で行ったことをふりかえる。</p>	<p>・「いただきます」の部分と一緒に読むように促す。</p> <p>・運転手、お客さんの台詞を確認する。待っている児童は「しゅっぱーつ」の掛け声を言うように促す。</p>	<p>【1段階】 国：ABC①②</p> <p>【2段階】 国：ABC②</p>
第三次	6 7 本時	<p>①絵本『おべんとうバス』</p> <p>②「バスにのせよう」</p> <p>③はっぴょうかい</p>	<p>・『おべんとうバス』の読み聞かせを見る。</p> <p>・名前を呼ばれた時に返事をする。</p> <p>・3つのグループに分かれて、おかずの絵カードをバスに貼る活動を行う。</p> <p>・友だちが活動している様子をみんなで見る。</p>	<p>・「はい」、「いただきます」の部分と一緒に読むように促す。</p> <p>・各児童の実態に応じて、返事ができるように促す。</p> <p>・各児童の実態に応じた活動ができるように支援する。</p> <p>・拍手するなど、がんばった児童を褒めるように促す。</p>	<p>【1段階】 国：ABC①② 算：ABC①②</p> <p>【2段階】 国：ABC①② 算：ABC①</p>

1 1. 本時の展開

(1) 本時の目標

第1段階

国語

- ・教師と一緒に絵本に注目して声に出したり、手振りや身振りをしたりすることができる。
- ・教師と一緒に名前を呼ばれたときに返事することができる。

算数

- ・教師と一緒におかずの絵カードをバスに貼ることができる。

第2段階

国語

- ・絵本の状況に合わせて簡単な台詞を言ったり、動作を表現したりすることができる。
- ・名前を呼ばれたときに、返事することができる。

算数

- ・バスに貼ったおかずの絵カードの数を、正しく数えることができる。

(2) 本時の評価規準

第1段階

国語

- ・簡単な台詞、手振りや身振りなどを表現している。
- ・名前を呼ばれて注目したり、身振りや発声などしたりして応えている。

算数

- ・おかずの絵カードをバスに貼っている。

第2段階

国語

- ・絵本の状況に合わせて台詞を言ったり、動作を行ったりしている。
- ・名前を呼ばれたときに、返事をしている。

算数

- ・バスに貼ったおかずの絵カードの個数を正しく数え、ものの個数を理解している。

(3) 本時のICT活用のポイント(活用のねらい、工夫する点)

【本時ではICTを使用していません。】

(4) 本時で扱う教材・教具

机3台、「おべんとうバス」の大型絵本、「おべんとうバス」の絵本、おべんとうバスのシート3枚、小さなホワイトボード3枚、おかずの絵カード多数

(5) 児童の実態と本時の目標

